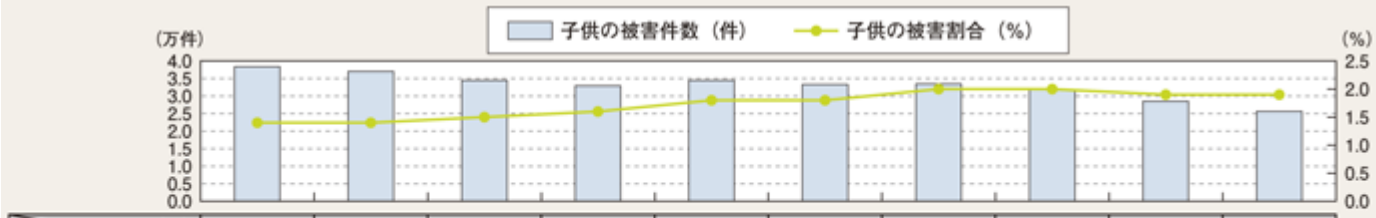
資料２

◇子どもや高齢者など社会的弱者を狙った犯罪の状況について（警察庁資料参照）

①　子どもの犯罪被害状況について

全刑法犯認知件数は減少傾向となっており、13 歳未満の子どもの被害件数も減少傾向となっているが、全被害件数に占める子どもの被害件数の割合（平成 24 年で 1.9%）は近年上昇傾向となっている。

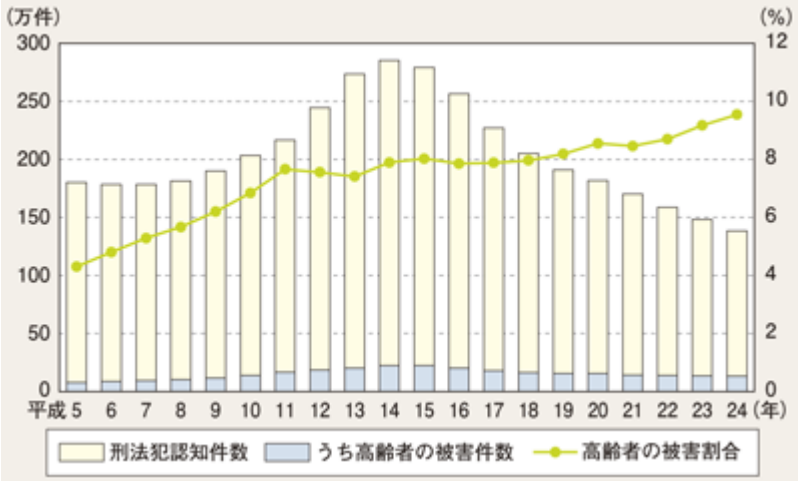
子供（13 歳未満の者）の被害件数等の推移（平成 15～24 年）



件数＼年次	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
子供の被害件数（件）	38,387	37,054	34,459	32,957	34,458	33,328	33,480	31,832	28,500	25,612
刑法犯認知件数（件）	2,790,136	2,562,767	2,269,293	2,050,850	1,908,836	1,818,023	1,703,044	1,585,856	1,480,760	1,382,121
子供の被害割合（%）	1.4	1.4	1.5	1.6	1.8	1.8	2.0	2.0	1.9	1.9

※子供の被害割合とは、刑法犯認知件数に占める子供の被害件数の割合

②　高齢者の犯罪被害状況について

全刑法犯認知件数は減少傾向となっており、高齢者の被害件数も減少傾向となっているが、全被害件数に占める高齢者の被害件数の割合（平成 24 年で 9.5%）は上昇している。

刑法犯認知件数及び高齢者の被害割合等の推移（平成 5～24 年）